

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	○栄養摂取や水分確保の支援 令和4年5月より大阪府栄養士会さんと連携を開始し、管理栄養士さんに毎月訪問いただき栄養管理体制を構築することとなった。 従来は栄養摂取について、身体の個人差に関係なく食事摂取量を大雑把に確認・記録を行っていた。 栄養管理体制の指導では、今までとは異なる新たな考え方に向き合う必要性が生じている。すなわち、主観的判断から客観的データを加味しての判断を行う体制構築である。 また、現段階では一部の職員が栄養士さんと接して指導を受けているレベルであり、今後この栄養管理体制をどのようにして現場に広げて体制を構築していくのが課題である。	栄養管理体制の仕組みをQC会議メンバーが理解して、現場で活用出来ることを目指す。	①栄養管理体制とは何か？QC会議メンバーが管理栄養士さん来訪時に順次指導を受ける ・栄養管理体制の仕組み ・基本データ ・データの分析 ・分析内容から解ること(適正值、上限値、下限値)	2ヶ月
				②分析内容と向き合う ・データの整合性について評価する ・分析内容と主観的判断との相違について評価する ・客観的判断の必要性を理解し、LIFE(科学的介護情報システム)を活用出来る様な体制を構築する	2ヶ月
				③栄養管理体制を活かす ・分析結果を活用して利用者の栄養改善とその方法について栄養士さんのアドバイスの下に考える ・栄養改善が必用な利用者の改善案を現場にて実行する 改善案実行が成果に繋がっているか再度分析、評価する	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。